

## 業連だより

12月7日、理事会を開催した。

富澤理事長の進行で審議に入った。「偕行社将来検討委員会の活動結果」について、白石副理事長から検討案が報告された。審議では、一部内容が不十分との指摘もあったが、基本的事項の決心が必要との意見が多数を占めた。審議の結果、「偕行社は永続させ、英霊の慰霊・顕彰を主体に事業を推進する。そのため、10年後を目的に収支均衡予算の達成を目指す」との基本事項を了承した。今後、平成30年3月の定期評議員会に、この基本方針と今後検討すべき課題を報告し、検討を深化させることになった。

続いて報告事項に入り、大越副理事長から、4団体合同の「平成29年度政策提言」を、防衛省の事務次官、人教局長、自民党の二階幹事長、岸田政務会長、公明党の山口代表に説明し、特に隊員の処遇改善についての感触が良かったとの報告があった。教育問題PT主催の中西輝政氏の講演会の結果について、非常に盛況であり、講演内容は、今後「偕行」に掲載予定であると報告があった。

大越副理事長から「相武台陸軍士官学校会の実施結果」について、今

年は遺族等にも参加範囲を広げた結果、15名の参加があった。今後の実施要領について検討したいと報告があった。

若木事務局長から、「防衛大学校学生の偕行社訪問」について、防大生にも好評で、時間を少しオーバーして意見交換が行われたと報告があった。

また、「旧弘前偕行社保存修理」については、旧弘前偕行社環境整備等支援委員会会長以下、関係者の出席の下、11月30日に弘前厚生学園で志摩会長から支援金の贈呈が行われた。

靖國神社への寄付金の贈呈について「靖國神社からの感謝状」を受賞したことが報告された。

総務委員長から、一部会員から要望があり、「楽譜付きの雄叫び」を刊行することについて検討中であると報告があった。

編集委員長から、「花だより」の編集について、各期担当者の高齢化等による問題が生起しており、今後「花だより」担当者と協議の上、編集委員が関与を深める方向で検討することの報告があった。

最後に、志摩会長から柳沢寿昭前入会促進特別委員長に対して顕彰状が授与された。